

小野耕石展

*Inducer*

KOUSEKI ONO

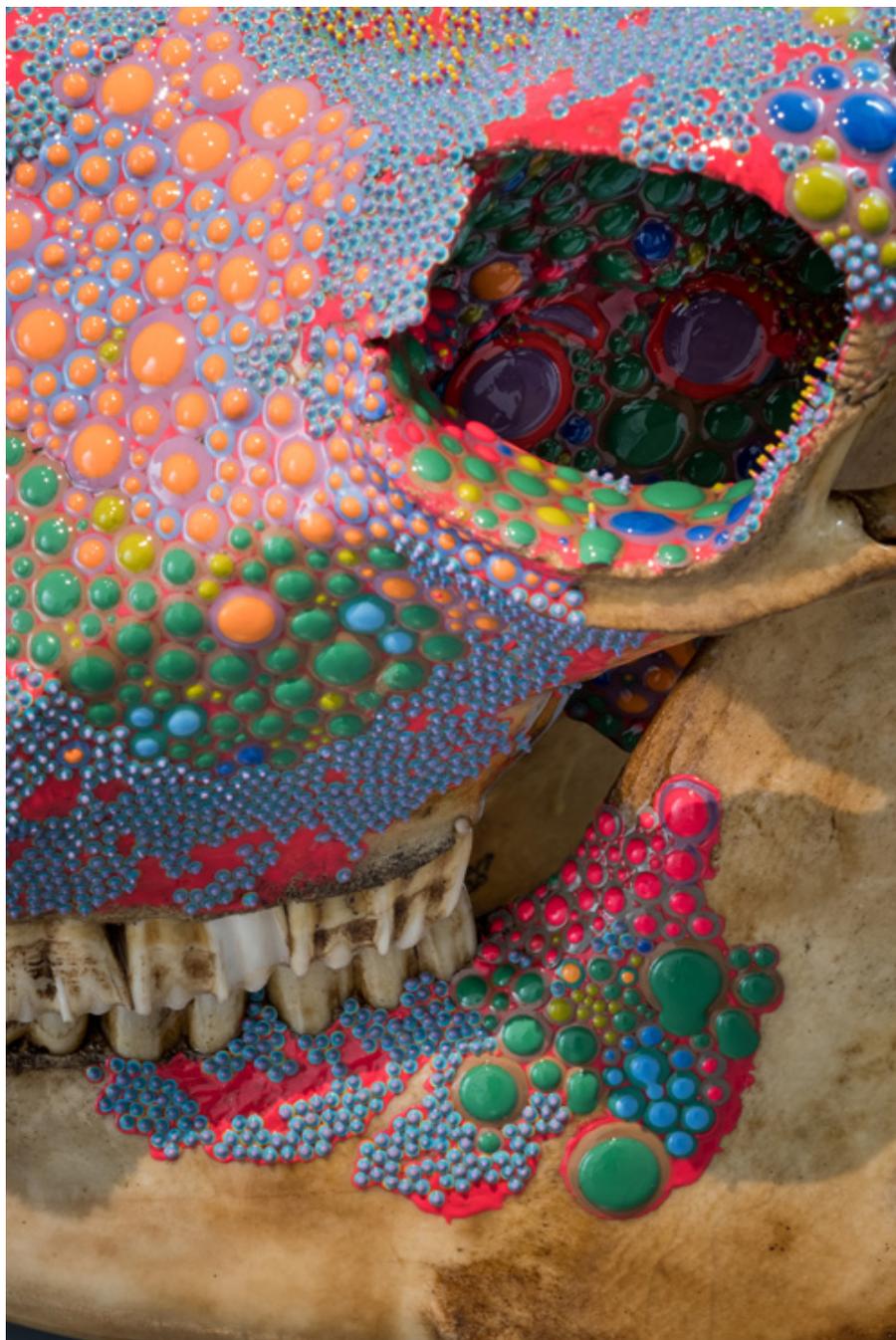


photo:青地大輔

《展覧会情報》

小野耕石展 Inducer

2017年12月10日（日）～2018年1月27日（土）

12：00-18：00 水・木休廊。12月23日～1月13日は冬季休廊。 最終日17：00まで

Reception&Artist's Talk : 12月10日（日）16:30-18:00

Galerie Ashiya Schule では12月10日より小野耕石の個展「Inducer」を開催いたします。作品の中に『影』を取り込む平面、積層する『色柱』を骨に付着させた立体。版画表現を通して平面と立体を自由な発想で駆け巡る小野耕石(b. 1979～)。本展では、小野耕石の原点である平面作品と、そこから派生して出現した立体作品に加え、スクリーンプリントに蜘蛛の巣を切り取って制作した、新たな実験的作品によって構成されます。

「版画」の概念を覆す新たな平面作品として、VOCA展2015でVOCA賞を受賞、その後も2015「第16回岡山芸術文化賞」グランプリ受賞、2016「PAT in Kyoto 第2回京都版画トリエンナーレ2016」大賞受賞など、旺盛な活躍を繰り返しています。Galerie Ashiya Schule では2年ぶり、2回目の個展となる本展では、小野耕石が実践する行為と新たな可能性を追求する試みを探ります。

<Inducer>

小野耕石

展覧会タイトルである「Inducer」は、2016年から制作を開始している動物の頭蓋骨に絵の具の集積物をピンセットで移植していく作品に与えられたタイトルである。

「induce」とは「誘導する」という意味合いだ。しかしそこに人間というニュアンスはなく、誘導する導きしものは、人ではなく「物」。つまり作品自体ということになるのだが、問題はその作品が「何処へ誘導するのか」である。

今の段階で「Inducer」は7点完成している。しかしその作品はNo. 01とNo. 07とでは絵の具の粒の大きさや出現してくる表情には少しずつ変化が生じてきている。制作を通じて気づいた事や実験的な試みも取り込んで、流動的に制作をしているからだ。自分なりに芸術とは何かということを考えたとき、1つの決まった結果に進んでいくことではないように思っている。そこで連作「Inducer」はNo. 01から未来制作を重ねていくことで見えてくる変化と発見を見せていく作品になればと考えている。その変化と発見こそ芸術とは何かという果てしないテーマに近づけるのではないかと、そして制作していく作品を通じて何か自分の中での発見につながればと思う。

何かとは「人間とは」「生命とは」「宇宙とは」「芸術とは」、つまりそこへの誘導である。10作目、20作目は、今自分の中で考えついてもいないような表現が出現してきてほしいと期待していて、その考え方は僕の制作に関わる多くの部分に共通している。

小野耕石

- 1979 岡山県倉敷市生まれ  
2004 東京造形大学絵画専攻版表現コース卒業  
2006 東京藝術大学修士課程絵画専攻版画科修了

個展

- 2003 「ono koji 展」 まみあな茶房（麻布十番）  
2005 「cultivate the boulder」 東京藝術大学版画廊（上野）  
2009 「小野耕石展」 養清堂画廊（銀座）  
第3回「shiseido art egg」小野耕石展 古き頃、月は水面の色を変えた 資生堂ギャラリー（銀座）  
「cultivate the boulder II」 アートフロントグラフィックス（代官山）  
2010 「小野耕石展」 養清堂画廊（銀座）  
「小野耕石展」 “ART EDITION” 釜山（韓国）  
「小野耕石展 泳ぐ深閑 - 映発」 奈義町現代美術館ギャラリー（岡山）  
2011 「小野耕石展」 養清堂画廊（銀座）  
「小野耕石展 削柱移植」 アートフロントギャラリー（代官山）  
2012 「小野耕石展 深邃」 Satellite（岡山）  
「小野耕石展」 養清堂画廊（銀座）  
2013 「小野耕石 - Multiples」 アートフロントギャラリー（代官山）  
「小野耕石展」 養清堂画廊（銀座）  
2014 「cultivate the boulder III」 ALC Gallery（横浜）  
「Hundred Layers of Colors」 Satellite（岡山）  
「小野耕石展」 養清堂画廊（銀座）  
2015 「小野耕石展」 養清堂画廊（銀座）  
「小野耕石展 - 版表現を切り開く者 -」 ギャラリーあしやシューレ（芦屋）  
2016 「Hundred Layers of Colors - 垂直は明るく、水平は光」 セゾンアートギャラリー（東京）  
2017 「小野耕石展」 '16/'15/'14/'13/'12/'11/'10/'09 養清堂ギャラリー（東京）  
「小野耕石」 '13 「Multiples」 '11 「削柱移植」 '09 「cultivate the boulder II」 アートフロントギャラリー（東京）

グループ展

- 2003 「HAN-do」 文房堂ギャラリー  
2007 「シルクスクリーン - 痕跡 -」 養清堂画廊  
「PRINTS TOKYO 2007 巡回展」 佐喜眞美術館（沖縄）東北芸術工芸大学7階ギャラリー  
「第4回 犬島時間」 岡山県犬島  
2008 「第5回 犬島時間」 岡山県犬島  
2008~2009 「空は晴れているけど」 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション（水天宮前）  
2009 「第6回 犬島時間」 岡山県犬島  
2009~2010 「アートの今・岡山」 天神山文化プラザ、高梁市歴史博物館、奈義町現代美術館（岡山）  
2010 「第7回 犬島時間」 岡山県犬島  
2010~2011 「"50" Contemporary Japanese Prints」 ティコティン日本美術館（ハイファ）  
2011 「第8回 犬島時間」 岡山県犬島  
「Redefining the Multiple 13 Contemporary Japanese Printmakers」 Ewing Gallery（テネシー大学）  
2012 「第9回 犬島時間」 岡山県犬島  
「モノタイプを創る:一つだけの美の世界」 東京アメリカンクラブ（麻布）  
2013 「アジアの息吹」 銀座三越8階ギャラリー  
「第10回 犬島時間」 岡山県犬島  
「TIEAF 東京国際環境アートフォーラム」 韓国文化院（四谷）  
「Redefining the Multiple 13 Contemporary Japanese Printmakers」 Bates College Museum of Art（ベイツ大学）  
「犬島時間展」 瀬戸内市立美術館3階ギャラリー（岡山）  
「TAKASIMA Artist in Residence」 長崎県高島町

- 2014 「版画系」 文房堂ギャラリー (神保町)  
「王道か 異端か。」 養清堂画廊 (銀座)  
「Artist Book 旅をよむ」 アキバタマビ 21 (3331Arts Chiyoda)  
「Approaching Zero- At the Frontier of Contemporary Printmaking」 Kala gallery (サンフランシスコ)  
「第11回 犬島時間」 岡山県犬島  
「プリントって何?ー境界を越えてー」 市原湖畔美術館 (千葉)  
「I氏賞受賞作家展 よにんの素材が表現する“今”」 岡山県立美術館 (岡山)
- 2015 「第12回 犬島時間」 岡山県犬島  
「デッサン展」 ツアイト・フォトサロン (京橋)  
「VOCA展 2015 現代美術の展望ー新しい平面の作家たち」 上野の森美術館 (東京)  
「超京都 art Kyoto 2015」 ちおん舎、京都文化博物館5階ミュージアム (京都)  
「第12回 犬島時間」 岡山県犬島  
「デッサン展」 ツアイト・フォト・サロン (東京)  
「overflow」 GALERIE SUIRAN (前橋)
- 2016 「PAT in Kyoto 第2回京都版画トリエンナーレ 2016」 京都市美術館 (京都)  
「美作三湯 芸術温度」 美春閣、リゾートイン湯郷 (岡山)
- 2017 「心のひだ・きびの美術ー遠との共鳴ー 第3回総社芸術祭 2017」 宝福寺 (岡山)  
「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.06/物語る物質」 高松市美術館 (香川)

企画展示

- 2014 「Hundred Layers of Colors」 Showcase Gallery (横浜市民ギャラリーあざみ野エントランスロビー)  
「Hundred Layers of Colors」 MIU ARTBOX (岡山県宇野港フェリー待合室)

賞歴

- 2003 「トーキョーワンダーサイト0号展」 入選  
「第28回全国大学版画展」 町田市立国際版画美術館収蔵賞
- 2004 「セプティニーニ賞」 東京藝術大学学内賞
- 2007 「Prints Tokyo 2007」 大賞  
「“世紀のダ・ヴィンチを探せ!” 国際アートトリエンナーレ 2007」 銀賞  
「第1回 NBC シルクスクリーン版画ビエンナーレ」 優秀賞
- 2009 「第3回 shiseido art egg」 入選  
「第2回 NBC シルクスクリーン版画ビエンナーレ」 大賞
- 2010 「第3回 I氏賞」 奨励賞
- 2015 「VOCA賞 2015」 VOCA賞  
「第16回岡山芸術文化賞」 グランプリ  
「第12回マルセン賞」 文化賞
- 2016 「PAT in Kyoto 第2回京都版画トリエンナーレ 2016」 大賞
- 2017 「アートオリンピア 2017」 全応募者部門4位

パブリックコレクション

- 町田市立国際版画美術館 (東京都)  
ティコティン日本美術館 (イスラエル)  
岡山県立美術館 (岡山県)  
吹上美術館 (岡山県)  
京都市美術館 (京都市)